新庁舎建設特別委員会の概要（第２７回）

１　日　時　　第２７回　令和７年３月３日（月）
　　１３時３０分～１５時、１５時１０～１５時２５分

２　場　所　　第１議会委員会室

３　出　席　　全委員

４　内　容　　１　候補地決定に関する資料の説明について（その 2）
　　２　その他

◆配布資料
・新庁舎整備事業の経緯と整備地の決定について
・浸水害の情報整理
・新庁舎整備＆プラザちゅうたい建設スケジュール（案）
・新庁舎、新体育館整備に伴う財政見通し

執行部より新庁舎の整備地はプラザちゅうたい周辺とし、体育館機能は前平公園と一体的に進めていくという市の方針を政策決定したことに関する経緯や浸水害や財政見通しなどについて、詳細な説明を受けた。

１　候補地決定に関する資料の説明について（その 2）
【主な説明内容】
〈新庁舎整備事業の経緯と整備地の決定について〉
令和 4 年 3 月に新庁舎整備事業の見直しを政策決定。
令和 4 年度
・庁内プロジェクトチーム立ち上げ（情報整理部会、検証部会）
・市民アンケート、職員アンケート実施
・4 つの候補地を決定
令和 5 年度
・市民ワークショップ開催
・市民アンケート実施
・4 つの候補地を決定

令和6年度
・子育て世代、外国人市民、障がい児者対象ワークショップ開催
・タウンミーティング開催
・職員アンケート実施
・市の方針として「プラザちゅうたい」を整備地とすることを政策決定
〈総合政策会議における政策決定過程〉
総合政策会議を1月21日、2月6日、2月10日の3日間開催。
敷地が広く環境の変化に対応できるプラザちゅうたいを支持する意見、プラザちゅうたいは、都市公園内に移転したほうが財政的に安く建設できるという意見、敷地面積が狭く駐車場不足という課題もあるが費用面やスケジュール面から現庁舎周辺が最適な整備地であるという意見などが出された。
議論の結果、「プラザちゅうたいの移転のイメージ図、スケジュール、財政負担を確認したうえで、市民の利用や財政面のメリットを最大限に引き出せると判断し、新庁舎の整備地はプラザちゅうたい（単体建設）とする。」、「プラザちゅたいの移転先は、前平公園と一体的に活用するため、社会資本整備総合交付金の活用できる都市計画公園内とする。」という政策決定となった。
〈浸水害の情報整理〉
・浸水想定区域（L1：計画規模、L2：想定最大規模）
L1浸水シミュレーション：破堤後4時間をピークにひき始める。
L2浸水シミュレーション：破堤後8時間をピークにひき始める
〈新庁舎＆プラザちゅうたい建設スケジュール（案）〉
・新庁舎（プラザちゅうたい単体の場合）
令和7年度に基本計画作成、令和12年度に新庁舎供用開始。
・体育館建設（畜産研究所跡地の場合）
令和7年度に合意形成、基本計画作成、令和13年度に体育館供用開始。
（体育館使用不可期間は3.5年間）
・体育館建設（プール跡地の場合）
令和7年度に合意形成、基本計画作成、令和12年度に体育館供用開始。
（体育館使用不可期間は2年間）
〈新庁舎整備に伴う財政負担の見通し〉
・現庁舎周辺（庁舎）
総事業費71.7億円：庁舎建設基金30億円、実質市負担額41.1億円（市債＋一般財源）
・プラザちゅうたい周辺
総事業費78.9億円：庁舎建設基金30億円、実質市負担額48.9億円（市債＋一般財源）
・畜産研究所周辺
総事業費111.1億円：国補助金4.8億円（社会資本整備総合交付金）、庁舎建設基金30億円、交付税措置1億円、実質市負担額75.3億円（市債＋一般財源）

〈新体育館整備に伴う財政負担の見通し〉
・現在地（プラザちゅうたい）
　総事業費 41.9 億円：国補助金 8.8 億円（学校施設環境改善交付金）、実質市負担額 33.1 億円（市債＋一般財源）
・前平プール跡地
　総事業費 45.9 億円：国補助金 21.8 億円（社会資本整備総合交付金）、交付税措置 4.7 億円、実質市負担額 19.4 億円（市債＋一般財源）
・畜産研究所周辺
　総事業費 54.8 億円：国補助金 26.3 億円（社会資本整備総合交付金）、交付税措置 5.6 億円、実質市負担額 22.9 億円（市債＋一般財源）
〈地方債残高の見通し〉（最も高くなる年度と金額）
・（新庁舎）現在地周辺、（新体育館）現在地：令和 12 年度 216 億円
・（新庁舎）プラザちゅうたい周辺、（新体育館）前平プール跡地：令和 12 年度 219 億円
・（新庁舎）プラザちゅうたい周辺、（新体育館）畜産研究所周辺：令和 13 年度 220 億円
・（新庁舎）畜産研究所周辺、（新体育館）現在地：令和 14 年度 237 億円
〈新庁舎と新体育館の整備に伴う実質市負担額の見通し〉
・（新庁舎）現在地周辺、（新体育館）現在地：74.2 億円
・（新庁舎）プラザちゅうたい周辺、（新体育館）前平プール跡地：66.4 億円
・（新庁舎）プラザちゅうたい周辺、（新体育館）畜産研究所周辺：69.9 億円
・（新庁舎）畜産研究所周辺、（新体育館）現在地：108.4 億円

【委員会で出た主な意見】
〈委員〉前平プール跡地、畜産研究所周辺の造成費、体育館の敷地面積の根拠は。
→畜産研究所に、新庁舎を建設としていた時の敷地面積は約 5 万平米で、体育館についてはそこまでの敷地の広さは必要性ない。必要最低限で計算して、約 2 万 6500 平米で十分あり、200 台以上の駐車場は確保できる。これだけの面積が減ったことによって造成費が半減しているということになる。前平のプール跡地は、約 8000 平米あり、プールを撤去した後の造成になり、平地にして建設をする場合の造成費が約 4 億円である。
〈委員〉3 回の総合政策会議でプラザちゅうたいとなった経緯は。
→ファシリティマネジメント、美濃加茂市の将来の街づくりを考えたときに、プラザちゅうたいは前平で総合運動場としての機能を高めてということが市民に対しても有効、財政見通もプラザちゅうたいだけでなく、今後予定されている学校の LED 化、空調、駅前再開発、そういった大きな財政負担となるようなものも加味して総合的に考えて最終的に全会一致で総合政策会議ではプラザちゅうたいに移転という結果となった。
〈委員〉積立金は 30 億円ということでよいか。

→建設までには30億円の基金としていく計画としている。
〈委員〉地方債残高200億円で財政破綻はしないか。
→どのパターンになっても厳しい財政状況であると思うが新庁舎整備は長年の政策決定でやっていかなければならないことで、できるだけ財政負担がないということで資料を作った。財政だけではなく総合的な判断の中で決まっており、やりきっていく。
〈委員〉今後の歳入の見込みと義務的経費、準義務的経費の割合は。
→歳入の見通しは読みづらいところがあるが、新年度予算でも、昨今の所得環境の改善や企業収益の改善に基づき歳入を伸ばしているが、大きくは伸びていかない見込みである。令和7年度予算では、約70%が義務的経費、準義務的経費で占めている。
〈委員〉職員の給与カットについて、将来そういった懸念はないか。
→現状そういう懸念は持っていない。
〈委員〉プラザちゅうたいを前平にもっていった場合の太田地区の避難所はどうなるのか。
→浸水害も含めて生涯学習センターが初期避難所になっており、6階建てで垂直避難がよいとなっている。太田小学校は、浸水害時の避難所にはなっていないため、基本的にプラザちゅうたいが二次避難所になっている。大規模な災害、長期間避難をしなければならないとき、二次避難所として開設するが、体育館を前平公園に持っていくことは高台になるので、市民が安全なところに避難ができるとも考えており、決定すれば、地区防災計画等の見直しも含めて検討をしていく。
〈委員〉浸水害と将来的な財産負担の資料が出てきたが、これをワークショップで市民に示していればワークショップの内容、アンケートの結果が変わっていたかもしれない。
→一つ一つ前に進めてこれだけの資料をようやく整えることができた。他の政策との関係性も含めながらしっかりと説明をして理解をしていただきたい。
〈委員〉庁舎は現庁舎に建て、プラザちゅうたいは前平プール跡地につくることは考えられなかったか。
→できるだけ広い敷地で余裕を持った庁舎を作ることを考えたときにプラザちゅうたいに建てることがより良いのではないかという判断をした。市民にもゆくゆくは理解してももらえると考えている。体育館の建て替えで閉鎖期間は出てくるので、この期間というものは極力短くしていける段取りでやっていく。
〈委員〉畜産研究所の返還はいつになるのか。
→県の農政部と返還に向けての協議を行っており、令和9年度末返還ということで協議を進めている。
〈委員〉図書館の今後については。
→公共施設総合管理計画では統廃合の対象になっており、統廃合していかなければならないが、図書館も様々な機能を持っており、慎重に検討していく。新庁舎と一緒になって考えることが財政的には効率よく、住民の理解、納得も得られると思っており、決定ができ次第進めていく。

〈委員〉駅南市街地再開発など大型事業が重なるが財政面での考えはどうか。
→駅前再開発の予算はグラフの中にはすでに入っている。大型事業は重複してやることは避けるべきだが、10 年待ったら、体育館の建設費が安くなるのかは見通せない。現行等の補助制度の一番有利な方法で、財政の提案をしている。
〈委員〉 小中学校、体育館校舎整備など、できなくなることはないか。
→総事業費が 10 億円以上になる駅南再開発、公共施設 LED 化、小中学校の空調設備などの大型事業については全て盛り込んである。
〈委員〉先々を考えるとなぜプラザちゅうたいが良いのか。
→ワークショップ等でも駐車場が広い方が良い、バリアフリーに適した庁舎が望ましいなど多くの意見があり、そういった声に答えられる。財政的な視点も、体育館を都市公園に持っていくことで、現在地での建て替えよりも財政的に有利な制度が使える。

【まとめ】
執行部より新庁舎の整備地はプラザちゅうたい周辺とし、体育館機能は前平公園と一体的に進めていくという市の方針を政策決定した内容について、説明を受け、質疑を行った。次回の新庁舎建設特別委員会でも引き続き、執行部が決定したプラザちゅうたい案について協議を行う。